

南アルプス市 平成 25 年度

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 4 月 8 日作成

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
25年度活動実績	土地家屋登記異動処理8,800件
26年度活動予定	土地家屋登記異動処理9,000件
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	土地、家屋異動データ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	課税誤りの無いよう土地、家屋異動データを正確に処理する。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	課税に対する納税者の信頼を得る。

➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	土地家屋登記異動件数	件
イ		
ウ		
➡	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	土地家屋登記異動件数	件
イ		
ウ		
➡	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	登記異動データの課税データへの反映率	%
イ		
ウ		
➡	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名称	単位
ア	苦情問合せ件数	件
イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円						
		一般財源	千円	1,957	1,935	1,904	476	476	
		事業費計 (A)	千円	1,957	1,935	1,904	476	476	0
	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	
		人件費計 (B)	千円	9	9	9	9	9	0
		(A)+(B)	千円	1,966	1,944	1,913	485	485	0
	活動指標		件	8,850.0	8,800.0	8,800.0	8,800.0	8,800.0	
	対象指標		件	8,850.0	8,800.0	8,800.0	8,800.0	8,800.0	
	成果指標		%	100.0	99.9	99.9	99.9	99.9	
	上位成果指標		件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

<p>① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？</p> <p>② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか？また、今後の予測は？</p> <p>③ 事務事業に対して関係者（市民、事業対象者、議会等）からどんな意見・要望が寄せられているか？</p>	<p>台帳の記載を見るとかなり古いデータが記載されているが、固定資産税に何時から繁栄させたかは不明。</p> <p>これまでのように紙ベースでの維持管理を行うのであれば変化はなさそう。</p> <p>特になし。</p>
--	---

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	土地、家屋台帳の内容精査。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	土地、家屋台帳の内容精査。

事務事業名	土地・家屋台帳整理事業	所属部	総務部	所属課	税務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 登記簿異動データを課税データに反映させることは、正確な課税を行う上で重要。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 個人情報、課税の元となるデータの整備なので市が直接行うべき。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 土地台帳法の改正により土地台帳等の更新が必要なくなった。(登記簿異動に関する資料の収集・仕分けは継続。)
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 適切な事務事業成果である。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 課税説明に支障をきたす恐れあり。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 土地台帳法の改正により土地台帳等の更新が必要なくなった。(登記簿異動に関する資料の収集・仕分けは継続。)
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費は既に削減済みでこれ以上の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 適正課税の元となる業務なので公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	土地・家屋台帳法の改正により平成26年度からは事業が一部縮小する。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																							
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																							
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																							
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																							
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																								
(2) 改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>			下			
	コスト水準																							
	削減	維持	増加																					
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																						
低下	<input type="checkbox"/>																							
下																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成25年度																							
特になし	(12) 成果優先度評価結果																							
	(6) コスト削減優先度評価結果																							